

パンマルシェ キュイキュイ 開店！

2011年4月20日 山陽新聞

「パンマルシェ キュイキュイ」の前でパンをPRするジョイ・ジョイ・ワーク引野の利用者



おいしいパンを多くの人に

福山の福祉事業所 本格店とコラボ

福山市引野町南の障害者福祉サービス事業所「ジョイ・ジョイ・ワーク引野」が、本格焼きたてパン店と手を組み、店頭や車での販売を始めた。北海道産小麦100%使用の評判の手作りパン。利用者たちは「おいしいパンを多くの人に食べてもらいたい」と張り切っている。

店頭、車で販売始める

のほか、クリームをパンや甘くもっちりした食感が魅力の食パン

店の営業は午前11時～午後5時（土、日、祝日は定休）。問い合わせは同店（084-941-9770）。

（村上達也）

「おいしい」と品ぞろえで人気だったが、金沖さんは体調面などからパンを焼く作業と経営の両立が難しくなり、閉店も考えていたという。経営は同事業所が引き継ぎ、金沖さんはパン焼きに専念することで営業継続のめどが立ち、店内もリニューアルして15日にオープンした。

味深いフランスパンや甘くもっちりした食感が魅力の食パンのほか、クリームをパンや甘くもっちりした食感が魅力の食パン

同事業所では豆腐やかりんとうを製造販売してきたが、かりんとう部門は専用の製造所を同市曙町に開設。事業所の新たな仕事として、同市引野町のパン店「パンマルシェ キュイキュイ」の金沖将一店長（36）と協力することになった。

同店は2006年に開店。おいしいと品ぞろえで人気だったが、金沖さんは体調面などからパンを焼く作業と経営の両立が難しくなり、閉店も考えていたという。経営は同事業所が引き継ぎ、金沖さんはパン焼きに専念することで営業継続のめどが立ち、店内もリニューアルして15日にオープンした。

同事業所を運営する社会福祉法人アンタンの池田正則理事長は「県内外からパン好きが集まる店。毎日食べるものだけに、新たな事業の軸として期待している」。金沖さんは「利用者みなさんと一緒に、喜ばれるパンをこれからも届けていきたい」と話している。